

# 支 援

## 《小学校地区別 VC ミーティング・中学校 VC ミーティングのお知らせ》

本年度第三回の VC ミーティングを開催いたします。小学校は校長会の地区割りにもとづいて6つに分けて行い、会場校については、地区内の学校で順送りにて決めさせていただいております。今回の会場校の校長・副校長先生や VC の皆様には、日程を繰り合わせるなどご配慮いただきましてありがとうございました。VC ミーティングのご出席方よろしくお願いたします。

	地区名	月 日 (曜)	時 間	会 場
小 学 校	1地区	2月 8日 (月)	9:30~11:30	小山小学校
	2地区	2月 4日 (木)	9:30~11:30	木曽境川小学校
	3地区	2月 9日 (火)	14:00~16:00	鶴川第四小学校
	4地区	2月24日 (水)	9:30~11:30	町田第三小学校
	5地区	1月28日 (木)	9:30~11:30	町田第六小学校
	6地区	2月 9日 (火)	9:30~11:30	鶴間小学校

中学校 (全校)	1月18日 (月)	9:30~11:30	市役所2F 市民協働おうえんルーム
----------	-----------	------------	-------------------

\* 中学校 VCM は実施済

## 《学校支援ボランティア感謝状贈呈式のご案内》



感謝状贈呈式の様子 (昨年度)

日時：2016年2月15日 (月) 14:00~16:00  
式場：町田市役所3階 災害対策本部室 (大会議室)

2008年度から始まった学校支援ボランティア感謝状贈呈式も、今年度8回目を迎えることになりました。町田市の学校支援ボランティアとしてこれまで感謝状を受けとられた方は、個人238名、団体が79団体というように、毎年度、途切れることなく続いている恒例の式となっております。今年度は、個人と団体をあわせ約50名の方々が感謝状をお受け取りになる予定です。

校長・副校長はじめ、ボランティアコーディネーター (以下「VC」) の皆様にもあらかじめ出席のご意向をうかがっておりますが、式当日のご出席よろしくお願いたします。

また、学校支援ボランティア感謝状贈呈式とあわせて、VC の事例発表を予定しています。今年度は小学校から小山中央小学校、中学校から木曽中学校の VC からの報告となります。毎年、役立つ情報が提供されている事例発表ですのでご期待ください。



事例発表の様子 (昨年度)

## 木曾中学校 JRC 部「焼きいも作り」

12月10日(木)に木曾中学校のJRC(Junior Red Cross)部が、収穫したサツマイモを材料に焼きいも作りを行いました。JRC部は、ボランティア諸活動に取り組んできている部活動ですが、木曾中学校では、学校支援ボランティアの指導・支援を受けながら、校地内の畑での農作業にも取り組んでいます。

収穫後に追熟<sup>ついじゅく</sup>させておいたサツマイモを、生徒たちは湿らした紙とアルミホイルでひとつひとつ包み



1学期の学校園畝づくり



かまどで焼きいも

込む作業とともに、それを焼くかまどの準備にも取り組みました。落葉焚きではなく、校庭の一角に作られている野外炊爨<sup>た</sup>施設のかまどを使っての焼きいも作りです。火熾<sup>おこ</sup>しは大変な作業でしたが、生徒は悲鳴と歓声を上げながら楽しく取り組みました。

シルバー人材センターから派遣された専門家のボランティアにより農作業の指導が、保護者のボランティアにより支援がされる中で進められてきた部活動です。VCはその仲立ちとなるだけでなく、作業の手配、準備、指導、

後処理などのすべてに関わっており、部活動を支える中心的な役割を果たしています。

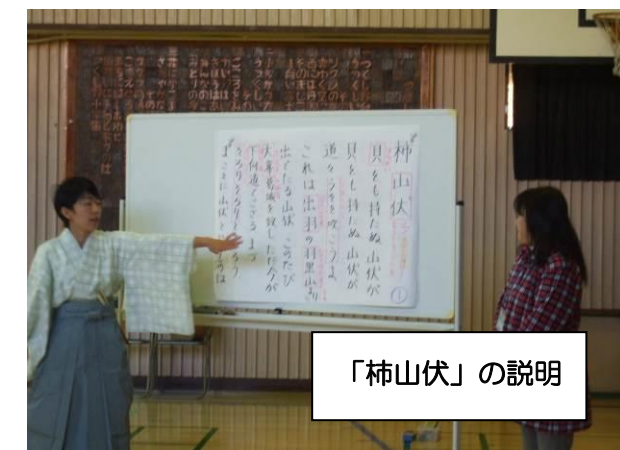
## つくし野小学校6年 「狂言」

つくし野小学校では、日本の古典芸能の所作や発声を体験しながら、楽しく狂言の魅力に触れることができるように、狂言の出前授業が行われました。6年生に狂言の出前授業をしてくださったのは、同校の保護者であり、狂言師の野村万作・萬斎氏の弟子でもある福富英里子さんです。

はじめに、福富さんが狂言を習うようになるまでの経緯や能・文楽・落語・歌舞伎等、古典芸能の歴史にふれたあと、狂言の指導に移りました。この日に紹介



古典芸能の話



「柿山伏」の説明

された狂言は「柿山伏」。模造紙に書かれたセリフをゲストティーチャー(以下「GT」)が読み、子どもたちが繰り返します。わかりにくい箇所では、GTが解説を加えながら、初めての子どもたちにもわかるように工夫された授業となりました。

能や狂言、歌舞伎など、日本伝統演劇では基本とされる歩き方「すり足」も体験しました。上半身を正座しているときのようにまっすぐに保ち、足の裏を床からなるべく離さないように移動する「すり足」の稽古では、

GTが手本を見せた後、グループごとに手とり足とり教える場面も見られました。稽古のトップバッターには担任の先生、続いて6年生が指導を受けました。

GTの福富さんは町田市人材データバンクにボランティア登録をされております。「狂言」指導の依頼につきましては、つくし野小VCか学校支援センターまでご一報ください。



すり足の稽古(先生)



すり足の稽古(児童)

### 町田第一小学校6年「キャリア教育授業」

12月18日(水)に町田第一小学校の6年生が、働く方々をゲストティーチャーとしてお招きして、仕事のこと、仕事をする喜びやつらさ、身につけた仕事の技術、仕事に臨むご自身の在り方などについてのお話を聴く授業を2時間にわたって受けました。

事前に業種を選んで受講した児童は、ケーキをデコレーションするパティシエの技、髪をきれいにセットする美容師の術、消防士の命をかけた重労働とその厳しい訓練、子どもの心をつかむ保育士の思い、サッカーに関わる仕事にかける夢などを目の当たりに見聞きし、誰もが驚き、胸膨らませ、自分自身の将来を考えるよい機会にできたことでしょう。また、職業や自分の将来について事前に深く学習した上で臨んだ授業だったためか、児童からは仕事について、あるいはそこに至る進路についての深い質問がたくさんされていました。

町田市教育プランにある、基本施策「自立心の醸成」を目指す個別施策「キャリア教育の推進」の具体的な展開を企図した、学校経営方針に基づいて取り組まれた「キャリア教育授業」と位置づけられます。小学校6年生段階で、将来に続く自分の進路について考える活動であるとともに、児童が学ぶ目的意識を高めることにより直近の将来である中学校での生活や学びにつながる学習活動になっています。

VCは講師の依頼をはじめ、準備、運営、片付けまでのすべてに関わっており、当校の計画的・系統的なキャリア教育を支える役割を果たしています。



パティシエ



美容師



消防士



保育士



サッカー選手

## 金井中学校2年「ビジネスマナー教室」



画像での説明

町田市の中学2年生は5日間にわたる職場体験をします。実際に仕事を体験することで、働くことのたいへんさ、その意義を学び、また社会の一員としての役割を担う意味に気付く活動です。また、体験を終えた生徒たちの多くには、親も含む普通の大人たちが普通に生きることが実は素晴らしいことであることを知り、自分自身の生き方を考え、そこにつながる自分の進路についてしっかり考えるきっかけになる進路学習の活動です。

いわゆる職業体験ではなく、働くこと、仕事をする事自体を体験するもので、体験する生徒にはどの職業、どの職場であっても最低限のマナーを身につけて臨めるようにと指導を行っています。この職場体験の事前学習を、金井中学校では企業で実際に行われているビジネスマナー研修、接客研修の専門家を講師としてお招きして行いました。

「マナーとは…」との語りかけで始まった1時間目の講演は、マナーが相手を尊重する心に発する所作・言動であり、その意味をしっかりと考えて場に応じることが大切であることを学ぶことができました。さらに、「第一印象の大切さ」「身だしなみ」「あいさつ」「表情」「立ち居ふるまい」「話し方」について、実際の場面に応じた具体的な実例を示しながら、とても興味深くわかりやすく話がされました。これらの多くが体験先の職場でだけのことではなく、日ごろの学校生活の中でもそうあるべきものだと気付く生徒もいたようです。



所作指導

2時間目は生徒全員の練習です。声の出し方、あいさつ言葉、お辞儀の仕方などをグループごとに、あるいは二人一組になって練習しました。生徒のほぼ全員がそれぞれにしっかり声を出しながら、練習をしていたことに感心しました。



あいさつ練習

また、企業の新人研修でおこなわれる水準のビジネスマナー講習を受講する中学生には、それ自体が新しい学びの場になるものと感じられました。

講師は当校近隣にお住まいで、VCとのつながりをお持ちの専門家です。VCは企画、講師の依頼、準備、運営、片付けまでのすべてに関わっており、当校の「職場体験」の推進役のひとりです。